

引戸の機能性を現代の住宅に！

# 襖の技術を応用した 新しい間仕切り

ユナイトボード

<http://www.uniteboard.com/>

襖の機能性を生かす

一般的には「和室用」と考えられる引戸。その代表的な存在である襖は和の伝統的デザインで製作され、洋室には合わせにくいという印象がある。

しかし、機能性から見直した場合、襖は開閉時にデッドスペースを生じさせることなく、必要なきには容易に開放したり取り外しでき、空間をコントロールで



- 1「日本人にはフレキシブルに室を分けるDNAがあるはず。その要求に応えるのが「襖」です」と語る、坂本恒太社長
- 2「DKチャウ・ラ」シリーズの一例。鮮やかな色調や模様の特徴

間取りを簡単に変更できるなど、空間そのものにも高いフレキシビリティを与える。「襖は、住人が主役の建具です。間取りが限定されず、住み手がいらぬと思つたときは外し、必要なときは仕切ることができるところです」と、ダンボール襖「ダンフスマ」などの開発・製造を手がけるユナイトボードの坂本恒太社長は話す。「写真1」。

また、襖ならではの効果もある。扉と壁で密閉された個室は、内部の様子が伝わりづらいため、家族のコミュニケーションの機会を減らすと指摘されることもある。「その点、空間を緩やかに仕切る襖は、人の気配が適度に伝わります。子供部屋の仕切りとして最適でしょう」と坂本社長は力を込める。

洋室にも合う新しい間仕切り

こうした襖の機能性を応用した仕切りが「ハイライン」である。その特徴の1つが、襖紙の概念をくつがえす豊富な色柄のバリエーションをもつ襖紙「DKチャウ・ラ」だ。従来の襖にはなかった純白や、襖紙のような色彩・模様のもなど、約50種類がラインナップされる「写真2」。また、ハイラインはパネルを桟木で自由に区切れるため、1つの面に異なる色柄を入れることができ、モダンなデザインが可能だ。光を透過する同



3 ハイラインは、設計者の自由な発想でパネル面を桟木で区切り、デザインすることができる

4 透光素材の「Uボード」を用いれば、新しい和の空間の提案も可能だ  
5 3面同仕様の桟が、自在な召し合わせを可能にしている

社オリジナル素材の「Uボード」を組み込めば、さらに変化に富んだデザインを提案できる「写真3」。

さらに、3面を同じ曲面で凹ませた桟材の採用により、T字やL字、そして同一レベル上で、パネルの突き合わせも自在に可能だ。召し合わせ部に緩衝材を入れることで、光漏れも防ぐ「写真5」。

戸車の採用により、足元の段差も少なく、開閉も軽いため、バリフリーにも対応する。芯材がダンボールのため、自重も軽く、取り外しも容易だ。桟材には同社オリジナルの合成木材「Vウッド」



を用い、空調が利いた現代の住宅でも抜群の寸法安定性を発揮する。和室と洋室の垣根を越えて、住まい方に合った間仕切りを提案する際に、ハイラインは最適なツールといえるだろう。

取材・文＝出町正義  
人物撮影＝石田博樹

光と影が交差  
柔らかく空間をつなぐ



オリジナル素材：Uボード

日本のDNA建材  
気配を感じる紙製建具



空間・空気を断絶しない  
視線はささぎる



自分ではずし、自分で取付ける  
可動壁の使い勝手



住まう人が主役



季節や気分に応じて  
リバーシブルに使い分ける



和室、洋室、収納、廊下、寝室  
リビング、キッチン、子供部屋



オリジナル素材：調整戸車

使う場所・使い方、自由  
(T字、L字も楽々)



建て替え、簡易リフォーム  
模様替え、気分換え



仕上げ素材(紙・色・柄)は  
自分で決める



完全オーダーメイド  
(mm単位で対応)

最大高さ2500、幅2500まで



株式会社ユナイトボード <http://www.uniteboard.com>

NEXTオフィス & ショールーム 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-43 西麻布3243 4F TEL.03-5771-3951 FAX.03-5771-3952

【資料請求番号 141】

DK design!  
伝統と空間を新しくデザインする。